

谷上山公園の今後

問

- ①谷上山線道路の改良を。
- ②園内各施設の状況を問う。
- ③市民の森、記念植樹の管理について
- ④今後の拡充計画を問う。
- ⑤第一展望台跡地の有効利用と整備を問う。

答

中村市長

④谷上山公園は、昭和46年10月に風致公園として都市計画決定、57・4鈔のうち現在供用を開始している9・5鈔以外の47・9鈔が未整備となっており、この区域には休憩所や園路の施設が未整備のまま残っている。この未整備区域の整備には、多額の費用が必要となるので、市民の意見、再生状況、利用者の動向を考慮して施設の配備等再検討を



正岡 千博 議員

して整備計画を立案していきたい。

答

産業建設部長

①この路線は、昭和46年度から51年度の間は園路として改良工事を行った。これを再改良するには地形的に非常に難しいため、今後危険箇所等の再点検を行い、交通事故防止等に努めたい。

②現在、市民、委託業者の報告や職員の巡回により不良箇所等の改修等を行っているのが現状である。施設によっては大規模な改修等必要な箇所も見受けられるので、今後も利用者の安全、利便性を重点に修理改修を行っていきたい。

③伊予市と伊予市観光協会が協賛して、吉野桜634本を植樹し、年3回草刈り等をしている状況である。標柱の取りかえを含め、今後は、観光協会と担当課とで協議を行い、適切な管理方法を検討していきたい。

⑤跡地については、未整備区域とあわせて検討し整備したいが、現時点ではイベント時の臨時駐車場や多目的広場として利用ができればと考えている。

⑤跡地については、未整備区域とあわせて検討し整備したいが、現時点ではイベント時の臨時駐車場や多目的広場として利用ができればと考えている。



谷上山公園の案内表示

外来植物種の対策

問

- ①市民と共に地域の環境を守り育てる対策を問う。(セイタカアワダチソウ、ホテイアオイ等)
- ②自生のケシ、今年も発見、その対応を問う。

答

中村市長

①在来種が将来にわたり育成できる環境を保護していくことは、植物に限らず重要なことと認識している。外来植物については、愛媛県野生動物物の多様性の保全に関する条例において、侵略的外来生物を公表しており、外来生物による被害を予防するため、県

民の責務として野外に放つことや植栽することを禁止している。

行政としても、地域環境の保護の重要性を市民の方々に一層認識をしてもらえるよう、周知活動、学習活動等を通して市民とともに環境を守る活動に取り組んでいきたい。

答

市民福祉部長

②今年4月に市内でケシ発見の通報を受け、松山保健所で確認を行った結果、栽培が規制されているアツミゲシであるとの報告を受け、早速抜き焼却した。

基本的には所有者が除去に当たらなければならぬので、所有者の理解や協力が必須となる。しかしながら、栽培が規制されている種類と園芸用のケシ類とは一般の人では区別がつきにくいという問題がある。そのため松山保健所との連携を密にとりながら、市内の情報提供を行い、適時指導をいただいている。

今後、ケシや大麻と思われる場合には、直ちに保健所や市に通報を行っていただくなどの周知を図りながら、迅速

な除去等に心がけ、開花シーズンには、前年度発生地域への再度確認を行うとともに、主な公共施設へのチラシの配布などの対応をしていきたい。

松山赤十字病院移転か

問

移転先を伊予市国道56号線沿へと誘致を働きかけてはと願う。今までの経過と今後の状況を問う。

答

中村市長

本市の総合計画でも総合病院の誘致を目標としている。しかしながら、日赤病院の移転については、既に松山市で移転先の候補地が名乗りを上げており、このこと、これまで水面下で相当の動きがあったものと考えている。

こうした事情の中で、本市としても総合病院が誘致できれば、さまざまな地域の活性化に結びつくとともに市民の願いもかなうところであるが、現実的には非常に厳しいと認識せざるを得ない。